

協定面積 (ha)	田	58	対象農用地 (ha)	田	58	対象資源	数量
	畑	11		畑	11	農用地	69ha
	草地	0		草地	0	開水路	18.4 km
	計	69		計	69	パイプライン	3.8 km
組織の構成員	農業者	非農業者	計			ため池	0箇所
	9人	16人	25人			農道	11.4 km

地域の紹介

内田地区の中北部に位置し、上小笠側右岸の水田が広がる田園地帯である。4集落、(月岡・杉森・政所・御門)共同で連帯しこの事業を立上推進している。昭和60年度県補助事業により埋設された延長約、4kmの(大井川用水)パイプラインを維持管理している。

活動内容

全施設の年間活動計画及び共同作業計画を策定し、点検活動を皮切りに事業を推進している。各施設の機能診断により確認された内容に伴い修復及び改善に取り組んでいる。農村景観形成は農用地に年2回、花の植栽を小学校との連携で実施している。

地域の将来像

恵まれた自然豊かな内田の里を守り、地域の何処でも誰とでも挨拶できる環境を構築し、農地・水・食と緑の調和のとれた安全・安心な地域づくりに取り組んでいきたい。

課題

高齢化に伴い、今後は農業従事者が減少していく速度が速まる。事業の趣旨から、非農業者を含む地域及び学校教育との連携・連帯は急務。また、早期に事業推進の次世代リーダー育成が必要である。

抱負・コメント

景観形成(花の植栽)は地域住民及び、学校とも連携し定着しつつある。今後は今以上に啓蒙活動を推進し、地域及び学校との連帯を図りたい。



年度計画及び共同作業計画策定



開水路(藻等の除去)



パイプライン(施設の点検)



景観形成(学校教育との連携)



開水路(水路法面の初期補修)